

未来の先生フォーラム2022 報告書



未来の先生
フォーラム

2022.08.31

未来の先生フォーラム2022 実行委員会

ご挨拶とお礼



この度は、未来の先生フォーラムにお力添えを誠にありがとうございました。

社会情勢を踏まえて今回もオンライン開催となりましたが、大変熱意溢れる日々が続きまして、参加者の皆様の良い学びや経験・発見の機会になれば幸いです。

本年度は3回目のオンライン開催で1週間開催に挑戦しました。過去2回のオンライン開催の知見がうまく組み合わせ、満足度も例年より高い会となりました。過去3回のリアル開催での経験、過去3回のオンライン開催での稀有な経験を基にして、ニュー・ノーマル時代における教育イベントを切り拓いてリードすべく、先駆的な取り組みをより一層行っていきたいと考えています。

教育業界の方々へ更なる貢献を目指し、絶え間ない更なる挑戦によって、未来の先生フォーラムをより良いものにしていきたいと決意しています。今後とも、またお力添えのほどを何卒よろしくお願いいたします。

最後に、みなさまの益々のご発展・ご活躍を願っております。

実行委員長
宮田純也

1. 全体

■日程

2022年8月1日(月)ー8月7日(日)

■場所

オンライン

■総申込者数

4247人

■プログラム数

総プログラム数:70



日本最大級の教育イベント
未来の先生フォーラム2022

08/1[月]ー08/7[日] [平日]18:00-20:50 [土日]10:00-17:00

オンライン開催
参加費無料

1. 全体



■協賛

ユームテクノロジージャパン株式会社、モノグサ株式会社、株式会社SUNBLAZE、株式会社ジプロス、株式会社デジタル・ナレッジ、公益財団法人日本英語検定協会、スタディプラス株式会社、一般財団法人国際ビジネスコミュニケーション協会、テンプル大学ジャパンキャンパス、株式会社ECC、SOLIZE株式会社、カシオ計算機株式会社

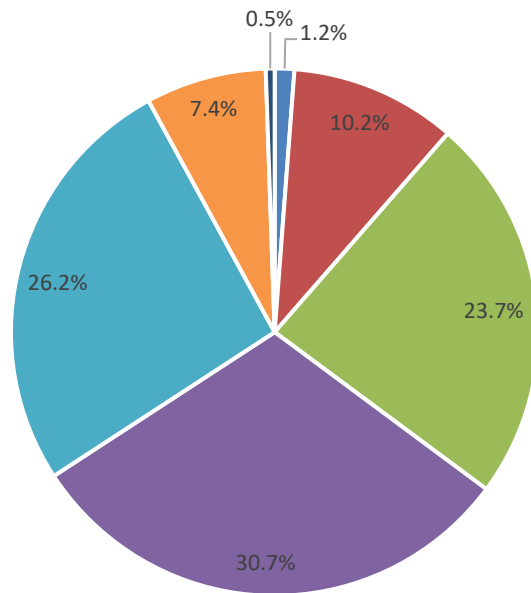
■後援

文部科学省、総務省、経済産業省、熊本市教育委員会、北海道教育委員会、青森県教育委員会、秋田県教育委員会、岩手県教育委員会、宮城県教育委員会、山形県教育委員会、栃木県教育委員会、群馬県教育委員会、福島県教育委員会、茨城県教育委員会、埼玉県教育委員会、千葉県教育委員会、東京都教育委員会、神奈川県教育委員会、新潟県教育委員会、富山県教育委員会、福井県教育委員会、山梨県教育委員会、長野県教育委員会、岐阜県教育委員会、静岡県教育委員会、愛知県教育委員会、三重県教育委員会、滋賀県教育委員会、京都府教育委員会、兵庫県教育委員会、奈良県教育委員会、和歌山県教育委員会、石川県教育委員会、鳥取県教育委員会、島根県教育委員会、岡山県教育委員会、広島県教育委員会、山口県教育委員会、徳島県教育委員会、香川県教育委員会、愛媛県教育委員会、高知県教育委員会、福岡県教育委員会、佐賀県教育委員会、長崎県教育委員会、熊本県教育委員会、宮崎県教育委員会、鹿児島県教育委員会、沖縄県教育委員会

2. 2022年度参加者属性

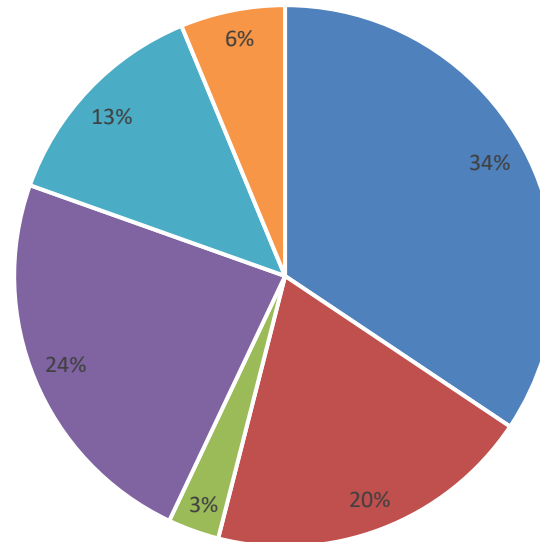
オンライン実施となった2020年以降、関東圏以外の参加者が増えており、2022年度は関東からの参加者が約4割と、日本全国からご参加頂けるイベントとなっています。

年代ごとの参加者



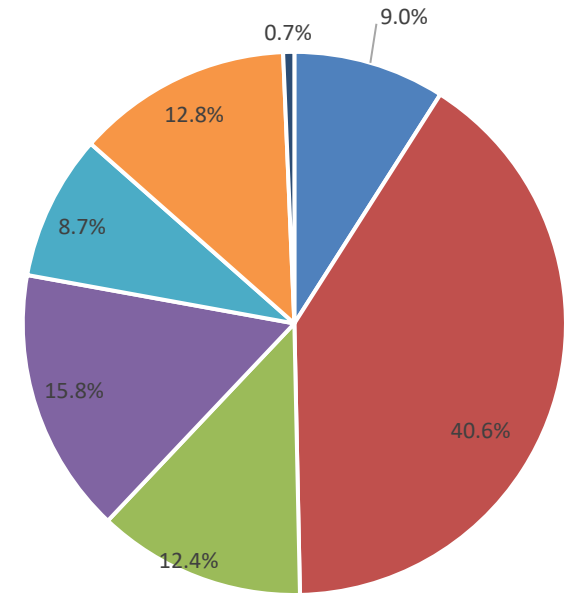
- 10代
- 20代
- 30代
- 40代
- 50代
- 60代
- 70代以上

参加教員の割合



- 小学校
- 中学校
- 高校
- 行政(教育委員会、研究所)
- 中高一貫校
- 大学

地域ごとの参加者



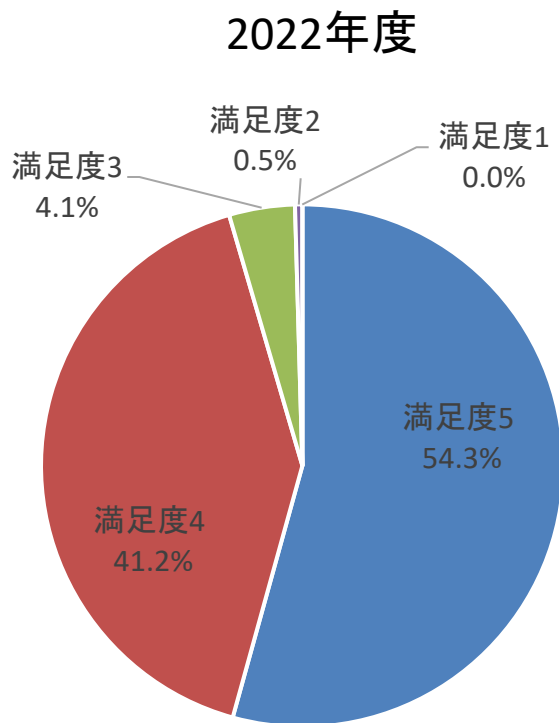
- 北海道・東北
- 関東
- 中部
- 近畿
- 中国・四国
- 九州
- 海外

2. 参加者データ

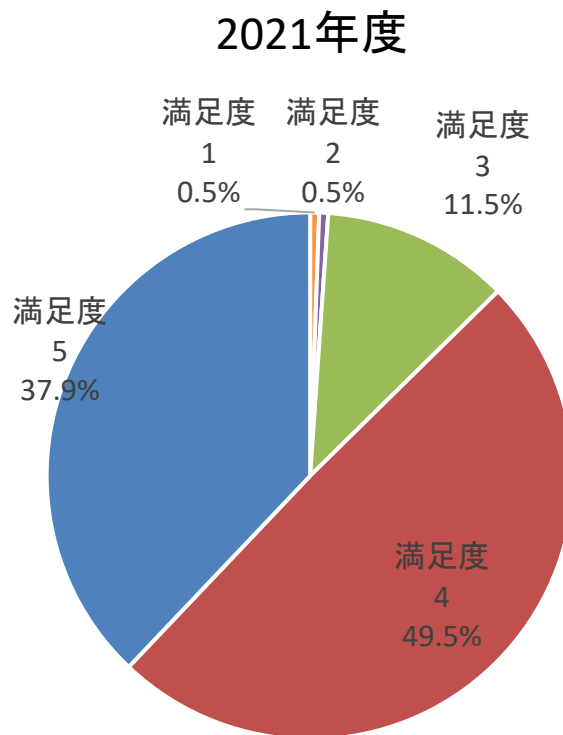
満足度

5⇒最高
1⇒最低

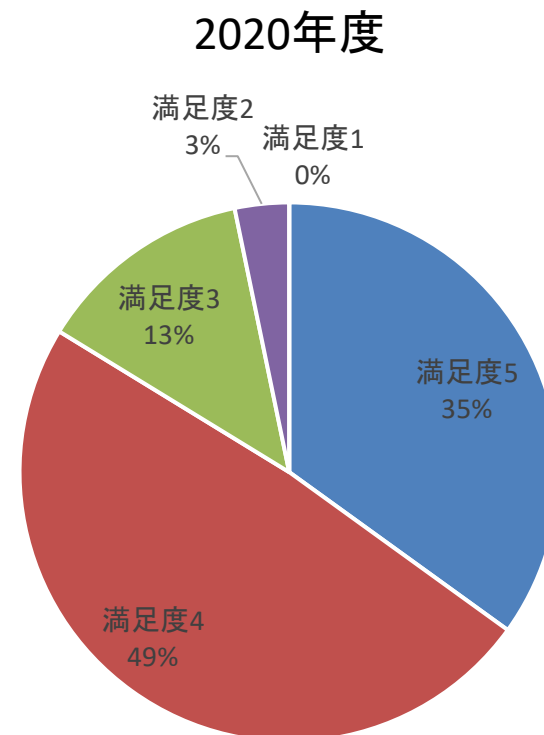
2022年度は2020年度のオンライン開催へ変更以来、過去最高を記録しました。



イベント評価平均: 4.50



イベント評価平均: 4.21



イベント評価平均: 4.15

3. プログラム

特設サイトのプログラム一覧ページをご覧ください。

・特設サイト:

<https://mirai-sensei.info/>

・プログラム一覧:

<https://mirai-sensei.info/202208program/>

4. 広報・露出～メディア～

教育新聞において、未来の先生フォーラム2022に関する報道が行われました。

○未来の先生フォーラム開幕「2030年の学校教育を創造」がテーマ

https://www.kyobun.co.jp/news/20220801_06/

○2030年の英語教育 校内英語スピーキングテストの課題と展望

https://www.kyobun.co.jp/news/20220802_03/

○「あくまでICTは資質能力を養うための手段」石井准教授

https://www.kyobun.co.jp/news/20220802_02/

○「課題自体を発見し解決するのが探究学習」理念と実践について講演

https://www.kyobun.co.jp/news/20220804_03/

○「デジタル時代の教育に必要なのは問題発見力」平井氏が講演

https://www.kyobun.co.jp/news/20220805_04/

○「たくましさとしなやかさを身に付けるために」PBLの理論を説明

https://www.kyobun.co.jp/news/20220810_04/

5. 参加者の声（アンケートより抜粋）

○今年度より教職に復帰して最初の研修でしたが、とても有意義なものになりました。忘れてしまっていたこともあり、授業の見直しをすることができました。夏期休暇中に2学期の準備ができるので、いいタイミングで受講できたと思います。

○教育DXは手段であって目的ではない。このことを常に念頭に置き、生徒に何を身につけさせたいのか、原点に立ち返る授業デザインをしていきたい。

○学習指導要領作成のど真ん中にいらっしゃる著名な先生から教育を支えている企業の方の熱い思いまで、さまざまな視点からのお話を伺うことができ、面白かったです。1時間刻みの多岐に渡ったプログラム構成も、選んで参加することができ、平日開催でもなんとか追いつきました。

○小さな子どもがいるので中々集中できませんでしたが、触れるだけでも触発になることがわかりました!ありがとうございましたm(_ _)m

○初めて、たまたま見つけて参加しましたが、とても有意義でした。

○異なる内容のプログラムでも目指す方向は同じだと感じた。

○先生方(講演者の方も参加者の方々も)が色々な想いを持って教育に取り組んでいらっしゃる事がわかりました。熱意のこもった講演を無料で聴かせていただき、大変勉強になった期間でした。ありがとうございました。

○これからの教育の在り方がわかりました。子どもが主役。今までの常識を疑い、子どものためになるのであれば、捨てる、変える必要があること。そして、ICT端末の活用が日常的になること。多すぎてまとめられませんが、今後少しずつ同僚にアウトプットして、整理したいと思います。

5. 参加者の声（アンケートより抜粋）

○ICT、探求、PBL、多文化共生、不登校・・・普段働きながら手探りでなんとかこなしている。そんな現状です。このフォーラムでは、理論および実践の様々な観点からお話を聞くことができ、大変有意義でした。1週間を通して感じたことは、我々教員も日々学び成長していくことの大切さです。

○毎日、盛りだくさんの内容の発見があり、とても充実した1週間でした。オンラインの良さが十分生かされた運営でした。講師のみなさん、そして事務局のみなさん、ありがとうございました。

○子供たちだけでなく、先生も幸せになる学校づくりについて、各分野の方々が各お立場で本気で考え、実践しながらも、行き詰まりを感じて悩み、でも希望をもって進みながら、今を変えようとしていることが分かり嬉しくなりました。現場で、悪戦苦闘しているつもりでしたが、まだまだ足りなかったことを自覚すると共に、多くの方が話されていたように、同じ方向性をもち繋がることを大切にして進めていくことが大事であることを学びました。今回初めて参加しましたが、日本の教育を本気で変えようとこのような大規模なイベントを実践してこられた宮田さんに敬意を表します。7日間の講演メニュー、講師のラインナップは見事です。今後も参加し、知見を得て、実践に結びつけます。ありがとうございました。

○今回、7日間のうち6日間参加させていただきました。リアルで会っての学びも大切なのですが、距離があるからこそオンラインを使って学べたことが良かったと考えています。また、質問したことに答えていただけるだけでなく、トークもいさせていただけたことは普通の研究会では出来ない経験だったように感じています。こういう中で上手くつながりを作り、普段から交流が出来るようになると良いなあと感じています。ちなみに振り返り会に参加しなかったのはとても残念でした。

5. 参加者の声（アンケートより抜粋）

○この1週間、多方面から学ばせていただきありがとうございました。日頃の実践の自己点検や今後の構想づくりなど、たくさんの勇気やヒントをいただきました。

○今、教育が変わろうとしているときにどれだけの人が本気で変えようと思って動けるかが重要なことだと感じた。これだけ個別最適化、協働的な学び、ウェルビーイングなど言われていても現場のマジョリティが変わらないと変えることは難しいことも感じた。

○熱くなりました。充実感も得られました。この思いを現場でどれだけ維持して広めていけるか…保護者の意識改革はどうすれば良いのか。もやもやもありながらも前に進めた感じもあります。

○多様なジャンルから自分で選んで受講できるのがよかった。演題も分かりやすくして選択も迷わなかった。私は小学校教員だが、大学入試制度の改革や高校教育の動向など、他校種のことでも詳しく知ることができた。

○教師も新しい時代に順応できるように常に学んでいきたい。

○特長的な取り組みやさまざまな見方・考え方など、自分の興味関心だけでは見つけられないプログラムもあり、勉強になりました。全国から意識の高い先生が沢山参加されていて、とても刺激になりましたし、励みになりました。

○正解・不正解を求めるのではなく、今日の前で起こっている現状や課題を改善していくために、私たち大人（先生も保護者も地域の方も）声をあげ、つながり、話し合い、行動していかなければならない時期にあるということです。そしてこのフォーラムで学んだ知見等を自分の中に留めるだけでなく、職場、知り合い、その他のコミュニティを通して広め、一人でも多くの方と今後の教育に関して考えていかなければならないと思います。